

血液透析治療について 副院長 庄司好己

■ いよいよ開始せまる！

昭和54年当地に真壁医院を現理事長の真壁道夫先生が開院されてから28年経ち、その当時から当院にかかっておられる患者さんの中（とりわけ糖尿病の方）に腎臓の働きが徐々に低下して、腎不全になってしまい透析治療を余儀なくされた方が最近多くみられるようになりました。



当院には血液透析の器機は短期的に使用するものが1台しかなく、慢性に透析が必要な患者さんを透析治療が出来る病院に紹介するしかありませんでした。しかし、当院で透析治療が出来ないか、出来ればいいのだけれどというご意見やお話を伺い、当院でも出来ないかと考え検討し、10月中旬から当院でも透析治療を開始することとなりました。初めは4台からはじめ、最終的には10台までにする予定です。



透析用監視装置

平成17年での石巻市と東松島市の人工透析患者数は合計で約400人で透析施設数は3施設でしたが、その後の透析導入患者数は年々増加しており、石巻、東松島地区でも増加しているものと思われます。透析施設数と台数の増加は無いまま、現在に至っており、仙台方面や大崎方面に透析を受けに行っている患者さん多いと聞いておりました。

当院も透析施設として参加させていただくことで、この地域の患者さんで不便を強いられている方にも何とかお手伝い出来るのではないかと考えております。

石巻・東松島地域で透析を行っている仙石病院、石巻日赤病院、宏人会石巻クリニックにご協力をいただきながらより良い透析医療の実現を目指していきたいと考えています。詳しいことは当院透析担当者にお尋ねください。

第62回 いきいき健康講座のお知らせ

「アルコール依存症者と回復活動」

- ・講師 松下武志 先生 日本大学文理学部教授
- ・日時 平成19年9月10日（月）
- ・場所 東松島市コミュニティーセンター（2階）
・住所：東松島市矢本大溜1-1 ・電話：82-6969
- ・講演 午後6時30分～7時30分

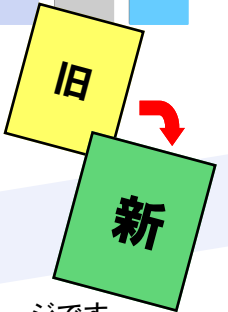
入場無料！

Information

■ 国民健康保険の被保険者証が変わります

10月1日から国保・退職の被保険者証が新しくなります。新しい保険証は9月中旬に各市町村、組合から交付されます。ご来院の際には新しい保険証を忘れずにお持ち下さい。

※イラストは国保の保険証のイメージです



言葉つなぎコーナー

日頃思っていること、感じたことなどを五七五で表してみましょう。季語などの形式にとらわれることなく、思い浮かんだ言葉をつないでみて下さい。

・めれつぼめ ひさしせばまり 餌場なし (AC様)

*今の日本に渡ってくる燕は可愛そうですね。長い軒端(ひさし)を持った家が少なくなり、農薬をまいているので、田んぼにも虫が少なくなっております。現代の日本人も心の軒端が小さくなってきて、ストレスに悩まされておりますね。深く鋭く世の中をみております。(国際医療福祉大学 梅内拓生教授)



職員紹介

第70回

村岡久美子（むらおかくみこ） 《 薬剤師 》

- ・出身地 東松島市 ・趣味 読書
- ・好きな食べ物 旬の野菜、旬の山菜
- ・最近ハマっている事 10月、透析治療室OPENに向けての学習
- ・最近とても驚いた事 さつき苑夏祭り、歌津つつじ苑夏祭り

昭和55年に大学を卒業以来薬剤師として医薬分業の追い風に乗って27年間勤務しておりましたが今年4月で退職し、真壁理事長のご高配により当院薬局に勤務する事となりました。皆様のお役に立ちたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

